

158 「婚宴」のたとえ

マタイによる福音書 22 : 1～14、ルカ 14 : 15～24



01 イエスは、また、たとえを用いて語られた。

02 「(神が永遠に支配する) **天の国は、ある王** (→父なる神) **が王子** (→イエス・キリスト) **のために婚宴** (→結婚披露宴→聖書協会共同訳: 婚礼の祝宴=神の国、天の国、メシア的王国) **を催した** (→七日間) **のに似ている。**

→ (聖書協会共同訳) 天の国は、ある王が王子のために婚礼の祝宴を催したのに似ている。

→ (回復訳) 天の王国は、自分の息子のために婚宴を用意した王のようなものである。

→ (リビング・バイブル) たとえば天の御国は、王子のために盛大な結婚披露宴を準備した王のようなものです。

03 **王は家来たち** (→バプテスマのヨハネとイエスの十二弟子たち) **を送り、** (事前に招待状を出して) **婚宴に招いておいた人々を呼ばせたが、来ようとしなかった** (→新改訳: 来たがらなかった)。

→第一段階の招き: イエスを信じるならば、神の国が現れる。

→招待された者たちは、7日の間、婚宴に時間を取られ、結果として、自分たちの日常の仕事ができず、挙句の果て(=とどのつまり)、自分たちの生活に影響すること(金持ちに付き合っていないという気持ち)もあり、婚宴に行くことをためらったのも一つの本音として考えられる。

04 **そこでまた、次のように言って、別の家来たちを使いに出した。**

『**招いておいた人々にこう言いなさい。「食事の用意が整いました。牛や肥えた家畜を屠って、すっかり** (→何もかも) **用意ができています。さあ、婚宴においでください。」**』

→第二段階の招き

05 **しかし、人々はそれを** (侮辱にも) **無視し、** ①一人は畑に、②一人は商売に出かけ、

06 **また、** ③ (最悪にも) **他の人々は王の家来たちを捕まえて乱暴し、殺してしまった** (→聖書協会共同訳: また、他の人々は王の家来たちを捕まえて侮辱を加えた上、殺してしまった。/回復訳: そして、残りの者は、彼の奴隷たちを捕まえ、侮辱を加えて殺してしまった)。

→これは王に対する大変な侮辱であり、王に対する反抗と受け取られても仕方がないことであった。

07 **そこで、王は怒り、軍隊** (→ローマ軍) **を送って、この人殺しどもを滅ぼし、(最後の手段として) その町を焼き払った。**

→火を点け、町を焼き払うことは、最後の段階である。

→AD70年のエルサレム滅亡の預言で、神の裁きの道具として、異邦人であるローマ軍が用いられた。

→聖書には「焼き払う」に関連する聖句は全部で31聖句登場する。内、新約聖書には下記の通り、マタイとルカの福音書に3聖句に登場する。

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 3 / 聖句等の総数 33250]	
S マタイによる福音書	3:12 そして、手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる。」	
S マタイによる福音書	22:7 そこで、王は怒り、軍隊を送って、この人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払った。	
S ルカによる福音書	3:17 そして、手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる。」	

08 そして、家来たちに言った。

『婚宴の用意はできているが、招いておいた人々は、ふさわしくなかった。09 だから、町の大通りに出て、見かけた者はだれでも婚宴に連れて来なさい。』

→招待客の範囲が広げられ、異邦人もその対象となり、救いや恵みのチャンスが与えられた。

→マタイによる福音書 11：28a 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。

10 そこで、家来たちは通りに出て行き、見かけた人は善人も悪人も皆集めて来たので、婚宴は客でいっぱいになった。

11 王が客を見ようと入って来ると、婚礼の礼服（→イエス・キリストの義の衣）を着ていない者が一人いた。

→婚礼には一番の晴れ着を着る習慣があった。このため、花婿の父が礼服を持っていない招待客に婚礼の衣装を準備する習慣があった。もしその招待客がその好意を受けず、婚礼衣装を着なければ、主人は侮辱されたことになった。

12 王は、『友よ、どうして礼服を着ないでここに入って来たのか』と言った。この者が黙っていると、

13 王は側近の者たちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇（→燃えている火の池）にほうり出せ。

そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』

→ヨハネの黙示録 19：20

しかし、獣は捕らえられ、また、獣の前でしるしを行った偽預言者も、一緒に捕らえられた。このしるしによって、獣の刻印を受けた者や、獣の像を拜んでいた者どもは、惑わされていたのであった。獣と偽預言者の両者は、生きたまま硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた。

→ヨハネの黙示録 20：14～15

死も陰府も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。その名が命の書に記されていない者は、火の池に投げ込まれた。

→外の暗闇は、悪を行う人が罰せられる場（→燃えている火の池）を表している。

タイトル(書名)	章:節 聖句	【検索対象総数：4 / 聖句等の総数 33250 〈外の暗闇〉3個】 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 【検索語彙：外の暗闇】
S マタイによる福音書	8:12	だが、御国の子らは、外の暗闇に追い出される。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」
S マタイによる福音書	22:13	王は側近の者たちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇にほうり出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』
S マタイによる福音書	25:30	この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』
S ルカによる福音書	13:28	あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが神の国に入っているのに、自分は外に投げ出されることになり、そこで泣きわめいて歯ぎしりする。

14 招かれる人は多いが、(キリストを救い主として信じ、神によって) 選ばれる人は少ない。」

→招かれるとは、救いを受けることです (エフェソ 4：1～4)。

選ばれるとは、褒賞を受けることです。すべての信者は招かれましたが、褒賞を受けるよう選ばれる者は少ないのです。

→エフェソの信徒への手紙 4：1～4

そこで、主に結ばれて囚人となっているわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。